

市立学校の太陽光発電『スクール発電所』が稼働しました

川崎市では、2050 年の脱炭素社会の実現に向けて、川崎市地球温暖化対策推進基本計画等に基づき様々な取組を推進しており、この取組の一環として、2030 年度までに、設置可能な公共施設の半数に太陽光発電設備を設置することを目標としています。

現在は市立学校を中心に、太陽光発電設備の導入を推進しており、令和 6 年度末時点で市立学校 26 校（P4 参照）に太陽光発電設備（合計 約 1. 13 MW※一般的な家庭約 390 世帯分の年間電力使用量に相当）と蓄電池を導入し、うち 2 校（菅生小学校、橘高等学校）について令和 7 年 7 月 14 日（月）から稼働を開始しました。残りの学校も順次稼働してまいります。この設備を川崎市では『**スクール発電所**』と名づけ、今後、拡大していく予定です。

スクール発電所の稼働開始に合わせて、**7 月 14 日（月）に、市立菅生小学校（宮前区菅生）で、ごみの分別や、川崎産グリーン電力、スクール発電所など学校を取り巻く環境についての学習等を行う「出前ごみスクール」を実施**しました。

市制 100 周年を迎えた令和 6 年度に供給を開始した再エネ電力の「川崎産グリーン電力」。100 周年の節目を越え、令和 7 年度においては、新たな取組「スクール発電所」を皮切りに、今後も川崎の脱炭素を推進していきます。

1 環境学習の概要

- （1）日時 令和 7 年 7 月 14 日（月） 9 時 30 分～12 時 20 分
- （2）会場 川崎市立菅生小学校（川崎市宮前区菅生 1-5-1）
校長 藤中 大洋（ふじなか だいよう）
- （3）参加者 菅生小学校 4 年生 114 名
- （4）学習内容
 - ・ごみ分別ゲームやスケルトンごみ収集車を活用した 3R の推進、ごみ分別排出などの学習
 - ・「川崎産グリーン電力 + スクール発電所」の組合せによる脱炭素化が実現されたことの学習

2 スクール発電所の稼働状況（7 月 14 日時点）

- （1）稼働施設数 2 校（P4 参照）
- （2）発電出力 スクール発電所合計出力：46.46kW
（菅生小学校：37.37kW）
- （3）CO₂ 削減量（想定） スクール発電所合計：30.46t-CO₂/年
（菅生小学校：24.32t-CO₂/年）

※菅生小学校の太陽光発電設備は、学校で使用する電力の約 15% に相当します。

3 環境学習の様子と児童のコメント



環境学習の様子



菅生小学校の太陽光発電設備



分別ゲームの様子



ごみ投入体験の様子

(児童のコメント)

- 電気を使わないときや誰もいないときはスイッチを消すようにしたいです。
- 川崎産グリーン電力についてよく分かりました。これからも電気を大切にしていきたいです。
- ごみの分別の仕方がよく分かりました。きちんと分別することで温暖化を防いでいきたいです。
- リサイクルしてプラスチックが何に生まれ変わるのかが分かって良かったです。

4 スクール発電所特設ページ

設備の稼働開始に合わせて、川崎市の太陽光の取組を紹介するポータルサイト「かわさき太陽光広場」内に、スクール発電所の専用ページを開設しました。このページでは、スクール発電所の発総量や、各学校の発電状況をリアルタイムで見ることができます。

ポータルサイト「かわさき太陽光広場」 <https://kawasaki-taiyoukou.jp/>



5 川崎市の今後の脱炭素への取組について

川崎市では、市内 3 か所のごみ焼却処理施設での焼却熱による発電を、地産地消のエネルギーとして、市公共施設等で有効活用する目的で、令和 5 年 10 月に民間企業と連携して地域エネルギー会社「川崎未来エナジー株式会社」を設立しました。

市制 100 周年を迎えた令和 6 年度に、同社による電力供給を開始し、令和 7 年 4 月現在は、市内公共施設 248 か所に供給しています。これにより、全ての市立学校において、再生可能エネルギー100%電力が導入されています。

そして 100 周年の節目を越えた令和 7 年度は、市立学校で太陽光発電を行う「スクール発電所」をスタートしました。現在は発電した電力は学校で消費していますが、今後は余剰電力を他の施設等に配分できる体制を整えるため、関係機関と調整を進めています。

さらに、令和 8 年度以降も、太陽光発電設備を設置する学校を追加していき、2030 年度までに設置可能な市内のすべての市立学校の電力が再エネ電力と太陽光発電により賄える体制を目指して、取組を推進していきます。



市立学校における再エネ電力導入のロードマップ

6 川崎産グリーン電力について（廃棄物発電）

市内で排出された普通ごみを焼却した際に発生する熱を利用して発電した電力は、再生可能エネルギーに位置付けられており、これを「川崎産グリーン電力」と呼んでいます。

今後、市立学校や公共施設、市内のごみ集積所などに、「ごみを電気に」のキャッチフレーズとともに、「川崎産グリーン電力」のロゴマークを掲出し、市民の皆様にも、川崎市の脱炭素の取組やごみ分別などへの理解促進を図ってまいります。



川崎産グリーン電力ロゴマーク

川崎産グリーン電力のしくみ

7 川崎市地球温暖化対策推進基本計画について

本市では、2050 年の脱炭素社会の実現に向けて、川崎市地球温暖化対策推進基本計画を令和 4 年 3 月に改定しました。

本計画では、「地域エネルギー会社を中核とした新たなプラットフォームを活用しながら、2030 年度までに全ての市公共施設への再生可能エネルギー100%電力調達」とすることを掲げており、今回の取組もこの一環です。

8 太陽光発電設備の稼働を順次開始する市立学校 26 校

学校名	所在地	学校名	所在地
下河原小学校	川崎市中原区上平間 585	橘中学校	川崎市高津区千年 1300
玉川小学校	川崎市中原区北谷町 32	西高津中学校	川崎市高津区久地 1-10-1
下沼部小学校	川崎市中原区下沼部 1955	高津高等学校	川崎市高津区久本 3-11-1
住吉小学校	川崎市中原区木月祇園町 17-1	中央支援学校	川崎市高津区久本 3-7-1
今井小学校	川崎市中原区今井西町 3-18	野川小学校	川崎市宮前区西野川 2-19-1
中原小学校	川崎市中原区小杉御殿町 1-950	鷺沼小学校	川崎市宮前区鷺沼 2-1
宮内小学校	川崎市中原区宮内 2-4-1	西有馬小学校	川崎市宮前区有馬 7-6-1
宮内中学校	川崎市中原区宮内 4-13-1	<u>菅生小学校</u>	<u>川崎市宮前区菅生 1-5-1</u>
<u>橘高等学校</u>	<u>川崎市中原区中丸子 562</u>	東菅小学校	川崎市多摩区菅馬場 2-19-1
橘小学校	川崎市高津区千年 1024	南菅小学校	川崎市多摩区菅馬場 3-25-1
新作小学校	川崎市高津区新作 1-9-1	下布田小学校	川崎市多摩区布田 23-1
下作延小学校	川崎市高津区下作延 5-19-1	稲田中学校	川崎市多摩区宿河原 4-1-1
久地小学校	川崎市高津区久地 4-2-1	枳形中学校	川崎市多摩区枳形 1-22-1

※太字下線の施設が7月14日（月）に稼働した施設です。

※その他の施設も太陽光発電設備の発電の準備が整い次第、順次、稼働を開始します。

【問合せ先】

川崎市環境局脱炭素戦略推進室 福田
電 話：044-200-2956